

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	肝・胆道・膵疾患患者の試料を用いた解析と保存 [倫理審査受付番号：第 1831 号]
研究責任者氏名	榎本 平之
研究期間	2014 年 11 月 4 日 ～2024 年 3 月 31 日
研究対象疾患・診療科名	疾患名：肝・胆道・膵疾患 / 診療科名等：肝胆膵内科
研究対象期間	受診日：西暦 2005 年 4 月 1 日～ 2021 年 12 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 試料等（血液、胆汁、腹水、膵液、尿など） <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	肝・胆道・膵疾患の病態の解析を 1985 年頃より行い、これらの疾患患者の血液、胆汁、腹水、膵液、尿のサンプルを解析後 -20℃で保存してきました。近年新たな腫瘍マーカーや増殖因子、アディポサイトカイン、腸内細菌叢等と上記疾患との関連が明らかになっています。また、最近 C 型肝炎ウイルスの新薬が次々と開発されており、薬剤の治療予測のためにウイルスの遺伝子変異の有無を確認する必要性が高まっています。そこで、肝・胆道・膵疾患患者の血液、腹水などを用いて、各種因子やウイルスの遺伝子、近年の新知見として疾患との関連が推定されるようになった物質の測定等の検討を行い、その意義を明らかにするとともに、医局で凍結保存します。これまで同意を得て保存していた試料に関しても、上記の解析を行うために使用させていただきます。
研究の方法	肝・胆道・膵疾患と診断された患者さんの試料やカルテ情報
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 6 月 30 日施行）」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：肝胆膵内科 担当者氏名：榎本 平之 [電話]（平日 9～17 時）0798-45-6472 （上記時間以外） 0798-45-6111